



■トータルで考える

買ったばかりのノートの1ページ目に書き始めたものの、うまく書けなくて失敗したなと思って、新しいページにもう一度最初から書き直す。ゲームを始めたものの、うまくいかなかったからリセットして再度始める。皆さんには、そんな経験はないでしょうか？「今回はこのまま終わらせて次に備えよう」と考えたり、最初につまづくと一気にやる気が失せてしまい、あきらめの境地に入ってしまったたり。そういう気持ちになったことはありませんか？

部活動等の大会応援をしていると、時折そんな場面に出会うことがあります。文化系の部活動で…思った音が出なかった時、言うべき台詞を間違えた時、当然“ライブ”ですからテレビドラマの収録のように「テイク2!」「テイク3!」というわけにはいきません。体育系の部活動で…序盤に失点してしまった時、終盤までリードされてしまっている時、プロのリーグ戦とは違い次がないトーナメント戦では「もう逆転するのは無理だから今回は負けゲームとしよう。」というわけにはいきませんよね。

このような場面で必要となる考え方はいくつかあるとは思いますが、私は継続力と修正力をあげたいと思います。

継続力とは、調子のいい時も悪い時も一喜一憂せず平常心を保ちながら“続ける力”です。時間いっぱいまで、ゲームセットまで、練習してきたことを“続ける力”です。忍耐力をもって続けていけば必ずいい流れがやってきます。“続ける力”はきっといい流れを引き寄せます。一方、修正力とは全体を俯瞰（ふかん・広い視野をもって大局的に考える）して、バランスをとりながら形を整えていく力です。以前あるテレビ番組で、数人がチームを組み漢字一文字を一画ずつ書きながら文字を完成させるゲームをしていました。一画目を受け、二画目、三画目を書く人がバランスをとりながら修正していき、最終的に文字の出来栄を競うというものです。なかには、“失敗”と思った一画目が結果的に文字全体に良いアクセントをもたらし、個性的で躍動感あふれる文字になっているものもありました。最初ば“失敗”と思っていた一画目が、トータルで考えると“成功”だったということになります。また、最初にミスをしたとしても尻上がりに調子を上げていくことによって、結果的に相手に対して良い評価を与える場合もあります。大事なのは「トータルで考える」ことです。最初にミスをしたとしても、あきらめずこれまでやってきたことを継続して行う力と、全体のバランスを考えながら丁寧に修正していく力です。

部活動を例にとつて話を進めてきましたが、日常生活においても、そして人生においても同じことがいえるのではないのでしょうか。つまづく時もあります。失敗する時もあります。うまくいかない時もあります。しかし、真価が問われるのは、その時どう自分と向き合い、どう考えるかです。時にはいい意味で鈍感に考えたり、遊び心をもったりすることも必要かもしれません。そして、自分を支えてくれる誰かにヘルプを求めることも大切なことです。「困ったときはお互い様」そんな気持ちを大事にしたいものです。

県総体が始まります。常に継続力と修正力をもって試合に臨んでください。

「最後まで…希望を捨てちゃいかん。あきらめたらそこで試合終了だよ。」

そういえば、安西先生*もそう言ってたよね。

*漫画「スラムダンク」に登場する安西光義先生